

元産業技術総合研究所地質調査所環境地質部長の 磯部一洋氏が瑞宝小綬章を受章



元産業技術総合研究所地質調査所環境地質部長の磯部一洋氏が、平成30年5月10日に瑞宝小綬章を受章されました。内閣府が定めている勲章の授与基準によれば、瑞宝章は、国及び地方公共団体の公務などに長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与するものとされています。このたびの瑞宝小綬章受章は、磯部氏ご本人のみならず、ご家族や旧地質調査所環境地質部、そして地質調査総合センターにとって大変名誉で喜ばしいことでもあります。



磯部氏は、地質調査所において先駆的な役割を果たした環境地質に関わる研究を行い、また、最後の環境地質部長として独立行政法人への移行という激動の時代に大任を果たされました。磯部氏の先駆的な研究は数多くありますが、1988年に発行された2万5千分の1「筑波研究学園都市及び周辺の環境地質図」(宇野沢ほか, 1988)がその代表

です。環境地質図は、筑波への移転2年後の1981年から作成が開始されました。100か所以上の露頭において地質調査が行われ、1985年のつくば万博開催や工業・研究団地の造成に伴って収集された膨大な地盤調査用ボーリング資料は5,111本に達したそうです。また、これらボーリング資料を解析するための基準となるオールコアボーリングが5地点で行われました。これらの成果を取りまとめて表層と地下の地質地盤を表した環境地質図が完成し、現在も利活用されています。

ちょうど30年後の2018年に、旧環境地質部の中澤 努氏らによってWEB公開された「千葉県北部地域の3次元地質地盤図」(<https://gbank.gsj.jp/urbangeol/>, 2018年7月31日 確認)は、磯部氏らの調査研究の手法をさらに発展させたものになります。また、現在は、東京都の地質地盤図の整備が進められており、磯部氏らの旧環境地質部の伝統が地質調査総合センターとなった現在でも脈々と頼もしく生き続けています。

(産総研 地質調査総合センター長補佐 牧野雅彦)

文 献

宇野沢 昭, 磯部一洋, 遠藤秀典, 田口雄作, 永井 茂, 石井武政, 相原輝雄, 岡 重文 (1988) 2万5千分の1筑波研究学園都市及び周辺地域の環境地質図. 特殊地質図, 23-2, 139p. 3 sheets, 地質調査所.